

稲敷地方広域市町村圏事務組合 視察研修報告

視察日

平成27年11月18日～19日

視察先

・徳島県吉野川市徳島中央
広域連合
「消防本部」

・兵庫県淡路市北淡震災記
念公園
「野島断層保存館」

視察目的

当組合議会運営と広域行政
が一層の進展と効率化を目指
すことを目的とする

参加者

林 昌子 飯田洋司

視察内容

徳島中央広域連合(以下「広
域連合」)は、昭和45年に徳
島県中央地区広域市町村圏振
興協議会として発足し、平成
9年2月、ふるさと市町村圏
基金の管理母体として、広域
連合に改組され、現在は、吉

野川市・阿波市の2市で構成
されています。

広域連合では、5年ごとに
広域計画を策定しており、現
在平成28年度から平成32年度
までの「徳島中央広域連合広
域計画」を策定している段階
でした。当組合との違いは、
介護認定審査会を広域連合で
設置・運営しているところで
す。広域連合管内の平成27年
3月末高齢化率は32・2%と
なっており、5年前の計画策
定時より3・9%増となつて



徳島中央広域連合にて

います。介護認定審査会の運
営を適正かつ迅速に行うた
め、関係市と連携を図り、効
率的な事務処理を進めるとの
方針でした。同様に障害支援
区分認定審査会も設置及び運
営を行っています

多様化・高度化する住民
ニーズに的確に対応するた
め、関係市との連携と協調を
深め、その果たすべき役割を
分担しながら、広域行政を推
進していくところは、これか
らの当組合の将来像ではない
かと感じました。

北淡震災記念公園は、平成
7年1月17日に発生した兵庫
県南部地震(阪神・淡路大震
災)で現れた国指定天然記念
物・野島断層をありのままに
保存・展示を行っている施設
です。野島断層保存館は、20
年前の阪神・淡路大震災を強
烈に思い起こさせ、自然の驚
異を如実に語りかけてきま
す。「震災を語り継ぎ、教訓
を未来に活かし、将来起こり



地震のエネルギーの巨大さを肌で感じる

うる大地震で少しでも犠牲者
を減らしたい」との思いが込
められ、この野島断層を保存
しているそうです。

本村では、平成23年3月11
日に発生した東日本大震災を
経験しました。その中で、日
ごろより防災意識を高め、県
内最下位の自主防災組織率を
引き上げる対策を現在進めて
いるところです。

今回の研修で、広域行政の
今後の姿と自主防災組織の取
り組みを考えさせられました。
た。